

大牟田市に関する、さまざまな出来事を写真とともに紹介します。

まちかどレポート



大牟田生物愛好会が内閣総理大臣表彰

自然観察会や生息調査を通じ、市民の環境保全意識の向上に尽力され、小中学校での環境教育、三池山の里山保全活動などの功績が称えられました。嶋田雅俊会長は「歴代会員のおかげ。これからも会を発展させていきたい」と関市長に報告しました。



はやめにここにこ会が環境大臣表彰

嶋田雅俊会長は、諏訪川や延命公園などの環境保全活動、カスミサンショウウオの保護育成の取り組みなどを関市長に報告しました。市長は「今後も環境保全や生物保護の活動をよろしく願います」と活動を激励しました。

チャレンジデー2023、大牟田市が勝利 ～2018年から5連勝 成績通算は11勝7敗～

本市は、世界中で行われているスポーツイベント「チャレンジデー」に今年も参加し、5月31日に山形県米沢市と対戦しました。スポーツや運動を行った住民の参加率を競うもので、大牟田市が67.2%、米沢市が28.3%という結果で勝利し、本市の旗が対戦相手の米沢市庁舎に掲げられました。当日は、あいにくの天気となり一部イベントは中止となりましたが、サン・アビリティーズおおむたで行われた「ニュースポーツで遊ぼう」には多くの人が参加し、ディスクッターナインなど4種類のニュースポーツに楽しくチャレンジしていました。



子育てふれあい広場「れもんぐらす」 青少年アンビシャス運動参加団体等表彰

れもんぐらすは、乳幼児とその保護者を対象に手鎌地区公民館で季節のイベントなどを開催しています。設立から代表を務める堺婦小与さんは「これまで続けることができたのは、保護者や子どもたちの喜ぶ顔とボランティアスタッフのおかげです」と関市長に喜びを報告しました。



福岡県障がい者スポーツ大会 金3、銀7、銅4のメダルを獲得

4月～5月に開催された第2回福岡県障がい者スポーツ大会に、本市から33人が参加し、ボウリング・競争競技・投てき競技で合計14個のメダルを獲得しました。市長は「この活躍は、障害がある人に勇気と感動を与える。次の大会も頑張ってもらいたい」と激励しました。



大牟田市政発展のために

女性の地位向上や健全育成のために活動する「国際ソロプチミスト大牟田」が認証45周年を迎えました。5月26日に記念式典が開催され、現在建設中の総合体育館内に設置予定の授乳室の備品費用および延命公園内の植樹費用が市に寄付されました。関市長は「皆さんの活動に敬意を表し、御寄付に心から感謝します」とお礼を述べました。



花と緑でにぎわうあいあい広場に

令和4年度の三池港港湾整備企業3社（のぼる技建(株)、(株)大平建工、砥上建設(株)）より、三池港あいあい広場内の土留めおよび花壇の散水システムの寄贈があり、5月26日に感謝状贈呈式が行われました。関市長は「海の環境が守られ、花と緑で美しい場になると思う。広場のさらなるにぎわいの創出に取り組みたい」とお礼を述べました。



eスポーツで 家族の絆、深まる

5月27日、イオンモール大牟田でeスポーツイベント「ファミ1GP」ワンダラブリを開催しました。親子や兄弟姉妹、夫婦、祖父母と孫など家族2人でチームを作り、合計64組128人が「フォートナイト」で対戦。華麗なプレーで会場は大いに盛り上がり、歓声があがっていました。



教育から まちの未来創出プロジェクトのために

第一生命保険株式会社久留米支社から、企業版ふるさと納税として50万円が寄付されました。同社は昨年10月にも、本市へ車いす2台を寄贈されています。関市長は「教育を通じた人づくり、つながりづくり、地域づくりの事業のために活用します」とお礼を述べました。



DIYで天の原すみよか広場がオープン

天の原校区の住民と有明高専生との交流の場として、旧小川医院にオープンしました。令和元年から高専生が主体となり、DIYでの本棚づくりやブックカフェなどが行われ、地域との交流が生まれてきました。オープニングでは、多くの人が集い、手作りベンチでぜんざいを食べる姿も見られました。